

+++ オール名鉄 革新懇話会ニュース

NO.184

全国革新懇 3つの共同目標

- ① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

発行 オール名鉄革新懇話会 〈明日をひらく会〉

世話人代表：石井 重成 TEL・Fax 0569-42-2517

事務局：〒456-0062 名古屋市熱田区大宝1-2-3ヴェルクレート日比野 1201号

植村 好清 TEL・Fax 052-681-0822

メール yosikiyo1937@mti.biglobe.ne.jp

2015.01

新年あけまして おめでとうございます

12月14日投票で行われた総選挙結果は、表にありますように、「全国革新懇 3つの共同目標」にもっとも近い日本共産党が8議席から21議席に躍進し、衆議院でも議案提案権をもつことができました。また沖縄では、翁長知事を応援した「オール沖縄」の議員が全員当選しました。大変喜ばしいことです。

しかし、この選挙で自・公は小選挙区制度によって3分の2を維持しており、安倍政権は、選挙期間中「アベノミクスが争点」だとして、集団的自衛権は出さずにおいて、選挙が終われば「信任をいただいた」としています。次期通常国会で、集団的自衛権を行使容認の法制化するため、自衛隊法改正、周辺事態法改正、PKO法改正など法律を変えるため全力をあげて取り組んでくるでしょう。作家の大江健三郎さんは「集団的自衛権を使うということは、アメリカと一緒に戦争をすること」とその危険な本質を明らかにしました。わたしたちは、それを阻止しなければなりません。そのためには、集団的自衛権の危険性を学び、一人でも多くの人と話し合うことが大切ではないでしょうか。

	合	女性	小選挙区	比例	選挙区	公認前	欠員 ¹
自民	291	25	223	68	52	295	
民主	73	9	38	35	34	62	
維新	41	2	11	30	29	42	
公明	35	3	9	26	-	31	
共産	21	6	1	20	5	8	
次世代	2	0	2	0	0	20	
生活	2	0	2	0	0	5	
社民	2	0	1	1	1	2	
改革	0	0	-	0	-	0	
諸派	0	0	0	0	-	0	
無所属	8	0	8	-	-	14	
計	475	45	295	180	121	479	

定数475	民主	73
	維新	41
	共産	21
	次世代	2
	生活	2
	社民	2
	無所属	8
149	公明	35
	3分の2 (317)	
	過半数 (238)	
291	自民	291

参院で否決された法案を衆院で再可決できる

■新春ハイキングは多度大社と木曾三川公園へ！

揖斐、長良、木曾の三川合わせて約2キロありますが、車でなく、歩いて渡るのは格別です。

期日：1月12日（祝）

ところ：多度大社と木曾三川公園

集合：近鉄名古屋駅地下改札前（電車の発着階）8時50分

列車：9時01分発松坂行き急行（桑名のりかえ）養老鉄道9時25分発大垣行で多度駅下車

コース：多度駅---多度大社---木曾三川公園---道の駅（休憩）---名鉄佐屋駅 約10キロメートル

交通費：名古屋-桑名440円 桑名-多度310円 佐屋-名古屋450円 計1200円

その他：弁当、飲み物、雨具などお忘れなく。



■第17回総会開催について

期日：2月15日（日）13時00分～17時00分 日帰り

ところ：労働会館 2F （金山駅から徒歩10分）

受付：13時00分から 開会：13時30分

講演：飯島 滋明 名古屋学院大学准教授（憲法学・平和学）著書『日本軍事入門』（吉川弘文館）他多数

テーマ：次号までお待ちください。

会費：年会費込 2000円

※ 総会への出・欠を2月10日までにご返送願います。（メール可）

<一般行事・その他>

○集団的自衛権行使反対 **愛知大集会パレード**

と き：1月17日(土) 大集会 13時30分～

パレード 14時30分出発

ところ：久屋大通公園・久屋広場(松阪屋本館向かい)

主 催：愛知県弁護士会

○選挙日程

愛知県知事選挙：1月15日告示 2月1日投票

いっせい地方選挙前半戦：県議選挙 4月3日公示 4月12日投票

同後半戦：一般市議選：4月19日公示 4月26日投票

町村議選：4月21日公示 4月26日投票



<書籍紹介>

小説外務省 一尖閣問題の正体一

孫崎 享

(現代書館) / 1600円+税

著者は、今年9月に「革新・愛知の会」主催「講演と文化の夕べ」で講演した弁士です。外務省に入省し、英国、ソ連、米国、イラク、カナダでの勤務を経て、駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使を歴任され、2009年まで防衛大学校教授の任に着かれるなど国際的に豊富な経験を積まれています。この本の副題は“尖閣諸島問題の正体”ですが、わたしたちは、中国漁船が海上保安庁の船にぶつかるシーンをテレビで何回も見せられました。中国船が日本の領海内に入ってきたことは間違いないようですが、これに対する政府の対応は、沖縄知事選挙、普天間基地の辺野古移設問題を抱えているため、従来の日中間の漁業協定とは違う対応したことをリアルに描かれています。

あの出来事を憶えておこう 一壊憲の背景、対峙する力一

小森陽一

(新日本出版社) / 1400円+税

著者は、「九条の会」事務局長をしています。この本は、「新日本婦人の会」の機関紙「新婦人」に「憲法なんでもゼミナール」として連載されていたものです。全体の構成は第1章イラク派兵違憲判決のころ(2008～2009) 第2章民主党への政権交代が示したもの(2009～2011) 第3章東日本大震災後、誰が何をしたか(2011～2012) 第4章第二次安倍内閣と憲法の危機(2012～)となっています。著者はあとがきで「第二次安倍晋三政権の下で、日本国憲法第九条は、制定以来最も深刻な危機にさらされています。」と述べています。

+

※ 書籍の提供案内は、いったん閉店いたします。すでに発表しました書籍については、期限に関係なく、ご希望があれば提供いたしますので、ご連絡をお待ちします。

(183回) 世話人会 1月20日(火) 13:30から

(184回) 世話人会 2月17日(火) 13:30から